

第1回彦根市公共交通活性化協議会 議事録

開催日 平成20年3月24日(月) 午後6時00分～午後7時40分

開催場所 大学サテライトプラザ彦根 A・B教室

1. 開会

2. 副市長あいさつ

自己紹介

3. 議事

(1) 協議会規約の制定について

資料2 協議会規約案により事務局から規約について説明

委員からの意見なし、全員挙手により規約案に賛成

決議事項 協議会規約案について承認

(2) 役員選出について 資料1 委員・出席者名簿

会長 彦根市副市長(規約第6条第2項)

副会長 滋賀大学山崎委員

規約第8条第2項により会長が指名し、委員了承

後日山崎委員へ報告

監事 聖泉大学野本委員、湖東地域振興局若山委員

規約第6条第4項により委員の互選

事務局案をという発言により、事務局から事務局案を提示、委員賛成

決議事項 監事 聖泉大学野本委員 湖東地域振興局建設管理部若山委員

(3) 平成20年度事業について

彦根市地域公共交通総合連携計画の必要性について

地域公共交通活性化・再生総合事業への応募について

地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画認定申請書(案)

資料3 彦根市路線バス懇話会 意見集約の概要

資料4 本協議会設置の目的(参考資料:地域公共交通活性化・再生総合事業)

資料5 本市における公共交通の現状と課題

事務局からパワーポイントにより認定申請書案および事業の説明

(意見)

井尻委員

3月28日の締め切りに向けて全国の各自治体が出てきますので総額30億円の取り合いになるかと思えます。すでに連携計画のようなものを作っておられる自治体についてはそれを協議会の場でそれを連携計画と位置づけた場合は、連携計画に書かれている内容を総合事業と位置づけ

て事業をするための補助金を申請することができますが、それを申請される自治体もありまして、それも3月28日が締め切りで30億円の中に入っています。調査事業については定額上限2千万円となっておりますが、そんなに調査に費用はかからないだろう、1千万円程度になるだろうと国土交通省では見ております。滋賀県内であれば東近江市や湖北町は連携計画を策定されまして、総合事業について手を挙げておられます。大津市や余呉町が彦根市と同じような調査に手を挙げておられます。

申請書案については事務局と運輸支局とで詰めておりますが、5の予算計画について各々の予算を挙げていただいておりますが、ざくっとした内容でよく、見積りをとって出している数字ではないので、もう少しこちらを重点にやるとか、そういう予算額の範囲で申請後の融通はつきます。

決議事項 彦根市地域公共交通総合連携計画の策定について承認 地域公共総合連携計画策定調査実施計画認定申請書案について承認

デマンドタクシー試行事業について

事務局から事業の説明

(事務局)

デマンドタクシーといいますのは、あらかじめエリアや運行時間が定められていて、利用したい者が電話などで予約をすると一定時間の間にタクシーで迎えに行き、他の利用者がある場合には乗りあって他の目的地へ向うものがございます。公共交通空白地域や路線バスの利用者が比較的少ない地域において有効な手段であると言われております。

先に開催の彦根市路線バス懇話会の意見集約によりますと、新しい交通システムを導入し、試行運行を行いながら、地域にあった方法へ少しずつ改善していくのがよいのではないかという意見がございました。最終的には懇話会としてデマンドタクシーの試行運行の提案がございました。

彦根市としましては、これを受けまして、市域全体の抜本的な見直しと並行して平成20年度にはデマンドタクシーを具体的に地域に取り入れた試行運行を行い、その有効性を確認しながら少しずつよいものに作り上げていきたいと考えております。また、実証をもとにして、抜本的な見直しの中での新たな地域への導入につながらないかと考えています。

導入時期は平成20年10月を目処に検討していきたいと考えています。

導入地域については、交通空白地域や路線バスの利用者の少ない地域、道路幅員が狭く路線バスが通れない地域に導入してはどうかという意見がございました。市としては、まずは交通空白地域である鳥居本地区と、路線バスの廃止により空白地域になっている稲枝地区の一部に導入してはどうかと考えています。

デマンドタクシー導入地域として、鳥居本地区と稲枝地区の一部についてデマンドタクシーを導入することについて本協議会での承認をお願いしたいと思います。

(意見)

議長(会長)

鳥居本はバスが走っていませんし、お店が全然ない地域になってしまいました。コンビニも全部つぶれましたが、どこかに買物に行かなければなりません。鳥居本については、そういうこと

も含めて考えていかなければならないだろうと思います。

稲枝については、路線を一部廃止した関係で、市立病院へ直接行けなくなったとかの声が非常に強い地域です。議会においてもすぐに稲枝が出てきます。

横幕委員

「デマンドタクシー」という言葉で謳っていますが、本来的にタクシーは電話注文を頂いて迎えにいきますので「デマンド」です。いつも国土交通省から言われておりますのは「乗合タクシー」いわゆる乗合事業でバスのかわりにもっと乗り物が小さくなったタクシーを利用するもので、乗合が優先になって、その中で運行が定時にするのかデマンドにするのか、ということになると思います。デマンドタクシーというと、ご利用者のみなさんが、普通のタクシーが利用できるのかと錯覚を起こされるので、この言葉を代えていただけたらと思います。

井尻委員

あくまで今年やろうとされているのは試行ですね。本格運行では乗合の許可手続き等ありますのでスケジュールは苦しいと思います。試行であることを確認してほしいと思います。

決議事項 鳥居本地区と稲枝地区の一部においてデマンドタクシーの試行運行をすることについて承認

(4) 今後の予定

資料5 検討体制およびスケジュールにより協議会の体制、調査業務委託について事務局から説明

委員からの意見なく、承認

決議事項 協議会に分科会を設けることについて承認
調査業務について滋賀県立大学へ委託することについて承認

その他事務局から説明

分科会について

連携計画策定分科会の委員長を滋賀県立大学近藤委員

デマンドタクシー分科会委員長を聖泉大学野本委員

分科会メンバーについては、事業者、団体代表者、地域の代表者等で構成し検討する

次回協議会について

申請をして認定の結果が分かり次第開催予定

(協議内容 20年度事業計画案、収支予算案、諸規定の制定等)

(意見)

近藤委員

スケジュールで見えないところがありますが、市民にとってはだんだん鳥居本で走るみたいな情報が出てくると思います。部分的にいろんな情報が出てくると一体何が行われるのか不安になると

思いますので、折につけシンポジウムなど、市民の人にも考えていただけるように、市民に対してそういう機会を入れていくべきだと思います。連携計画を作るもの1年かけられるので、考えている案などを市民に示しているんな意見をもらうなどしておかないと、来年動かそうとしたときに、市民が知らないということになって動かないということになってしまうと思います。1年かけて、バスが限界にきていることやみんなで考えましょうということをしていきたいと思います。調査のデータをみなさんに知ってもらいながらやっていきたいと思います。

中辻委員

議会などでも地域の声をどのように反映させるのかということが一番議論されます。懇話会でも地域ガバナンスということばが出てきていますし、今までは官主導でやってきていましたが、それではだめだということを感じております。計画策定段階から市民の声を聞けるようなものは必要だと思います。

議長（会長）

前は懇話会でしたが、これからは全国的にされる、国から補助金をもらいながらやろうとしている協議会ですから、いかに報道機関に流していくか、市民が参加できるかという部分がないといけないと思います。

盛り上げ隊など、地域を利用してバスを盛り上げようとする声がなかったら、県補助もシビアになってきまして、億近いお金を市が出さなければなりませんから、差が縮まるように市民に訴えていかなければなりません。

井尻委員

彦根市は道路運送法に基づく地域公共交通会議はありましたか。デマンドタクシーをするのに公共交通会議で合意を得たらなんでもよいのですが、それでなければ詳細な資料をつけなければならずやっかいですから、規約を改正して協議会で地域公共交通会議のことを検討することを加えればどうかと思います。

デマンドタクシーを2地域に限定しておられますが、他の地域にも導入していこうと当然考えておられると思いますので、今年度は2地域で試行錯誤してやってみて、来年度以降はどうやっていったらよいかの基本線を考えて、連携計画の中に盛り込んで、その事業をするのも連携計画の中の実証運行と位置づけていただいたら、国が1/2出しますので、市域全体に広げていけばよいと思います。そのときにシンポジウムの開催、チラシ作成等PRを4月早々にするなどしていただいたらよいと思います。最初の半年はどうやったらよいか、地域にはどのようなのが合うのかを試行錯誤していただき、計画に盛り込んでいただく。国は1/2ですが、あとの半分は、今までは自治体との協調補助でしたが、みなさんで話し合っただれが出してもよいことになっていますので、どんどん新しいアイデアを出していただいたらよい、そのような制度になっています。流れとしてはそういうことになるのかなと思います。

宮野委員

鳥居本いうのはよいところを指摘されていると思います。これをいかにみんなに浸透して聞く、情報収集するためにはやっていいのか、もう少し時期を待つのか、それを思案しています。体制が

できたら意見徴収をしていこうと思います。私どもは月に1回など学区別に理事さんが集まってきます。鳥居本や稲枝はいろんなことに熱心ですから、いろんなご意見はすぐいただけるのではないかと思います。

他の委員については特に意見なし

4. 閉会